

**AUTOSPORT BIWAKO SPORTKART SERIES**  
**オートスポーツ・琵琶湖・スポーツカート・シリーズ**  
**2010年 開催概要**

本大会は開催各サーキット場内規則、本大会特別規則、K-TAI 車両規則にしたがって開催される

**1、イベント名称** AUTOSPORT BIWAKO SPORTKART SERIES  
オートスポーツ・琵琶湖・スポーツカート・シリーズ

**2、主催者**

第1戦、第3戦 有限会社ケーアールピー 京都市伏見区下鳥羽長田町 161

電話番号 075-612-1191、FAX 番号 075-612-1192

第2戦 株式会社琵琶湖スポーツランド 滋賀県大津市伊賀立下龍華町 673-1

電話番号 077-598-2888 FAX 番号 077-598-2873

**3、開催の有無およびキャンセル**

雨天決行とする。主催者判断による開催中止の場合には、エントリー事務手数料(1000円)を除き参加費を返却する(下記参照)。返金方法はその都度、連絡をする。ただし、参加者都合によるキャンセルは参加費を返却しない。

イベント中止のタイミング	参加費返金の対応
走行が1回も行われていない場合	事務手数料を除いて参加費を返却
レース走行開始後(公式練習を含む)	返却をしない

**4、開催クラス区分**

GT1 K-TAI スポーツカート規則に準拠した参加者持ち込みのカート

GT2 各主催サーキットが用意するレンタルカート

**5、開催サーキット、日程、レース時間、各クラスのグリッド数**

Rd.	日程	開催コース	レース時間	GT1 グリッド数	GT2 グリッド数
第1戦	4月25日	琵琶湖スポーツランド	3h	7	28
第2戦	8月8日	琵琶湖スポーツランド	3h	5	17
第3戦	11月21日	琵琶湖スポーツランド	調整中	7	28

※レース時間は暫定。主催は上記グリッド数とは別に特別招待枠を設けることがある。

※GT2クラスのグリッド数は変更する場合がある。

※第1戦、第3戦はオートスポーツ・スポーツカートミーティングと併催

**6、参加資格およびチーム人数**

原則としてレース開催日に満18歳以上の健康でカートを運転する上で支障のない者。かつ下記の条件を満たす者。18歳未満の者がチームに属する場合は人数および走行時間の制限が設けられる場合がある。体重が軽い場合はウェイトの積載を義務付けられる場合がある。(GT1クラスのみ)

- ・SL カートライセンス、JAF カートライセンスのいずれかを所持している者
- ・各サーキットが定めたレンタルカートライセンス、基準タイムクリア証明書を保持している者
- ・主催者が参加を認めた者
- ・2009年オートスポーツ・スポーツカートシリーズ参加者
- ・1チームの参加人数は2～10名

## 7、参加申込み

原則、レース開催日1カ月前の正午 12:00 より受付を実施する。受付の締切は、レース開催日1週間前または各クラス定員になるまで先着順にて行う。参加受付期間が上記と異なる場合は事前に告知する。

専用ウェブサイト(<http://www.sportkart.info>)からリンクされたエントリーシステム(インターネットショッピングのシステムを使用)にて必要事項を記入の上、申込み、クレジットカードでエントリー費用の支払いを行う。先着順に受け付け、支払いが完了したチームには事務局から受理を伝えるメールを送信する。期日前の申込みは受け付けない。クレジットカードでの決済ができないエントリーは自動的にキャンセルされる。

申込枠が完売になった場合、専用ウェブサイト内にキャンセル待ちの窓口を設置する。キャンセルが発生した場合抽選にて販売する。

理由の如何を問わず、エントリーができない場合の抗議は一切受け付けない。

受付後1週間以内に、事務局からのメールに従ってチーム名や出場選手の氏名などを届け出、レース当日の受け付けには、事務局からメール送信する誓約書をプリントアウトの上、参加者全員が署名、捺印して持参すること。

## 8、参加費

別途特別規則にて定める。

## 9、GT2 クラス参戦車両の決定

走行前のくじ引きによる抽選となる。体格により車両が制限される場合がある。その場合、参加者の体格への適合が優先される。

## 10、スターティンググリッドの決定

先頭は GT1 クラス。GT1 クラス最後尾後方に GT2 クラスの先頭から整列する。

GT1 クラス・・・すべて抽選

GT2 クラス・・・抽選

## 11、ドライバー装備

レーシングカート用スーツもしくは4輪レース用レーシングスーツもしくはメカニクスーツ(厚手の布つなぎ)を推奨。長袖・長ズボンの場合は、車両への巻き込み対策・風圧で暴れないようしっかり止めてあること。くるぶしまで覆う靴、滑り止めの着いた手袋、バイザーの付いたヘルメットを着用すること。

※ヘルメットは JIS2000 もしくはそれと同等以上の規程を満たしていること。フルフェイスタイプを強く推奨する。

※プロテクション機能を有する JAF 認定もしくは FIA 認定レーシングカート用スーツの着用を強く推奨する。

※リブプロテクター装着を、各クラス共に強く推奨する。

※ナイト照明を使用する夜間のレースにおいては、照明が点灯された時点からスモークシールド(ライトスモーク含む)使用を禁止する。反している場合にはオレンジポール旗が当該ドライバーに提示される。

※イベント開催中いっさいの無線の使用を禁止する。走行中の携帯電話の携帯も使用は禁止とする。

※ティアオフシールド(捨てバイザー)の使用は許可する。ただし、走行中に取り外すことは禁止され、風圧等で外れないような措置を施すこと。

## 12、レース方法

スタートから所定時間内の周回数で順位を争う。チェッカーフラッグを受けることを優先し、ピットおよびコース内外で停止などチェッカーフラッグを受けられない場合、最多周回周チームの60%以上走行していれば完走と認定する(リタイヤ届けを提出した車両は除く)。同一周回の場合にはチェッカーを早く受けたチームが上位と認定される。レース結果は主催者から発表される正式結果発表を以って確定とする。決勝中のドライバー交代は「19」ドライバー交代規定に従って行われる限り、その実施・タイミング等は自由。

## 13、スタート方法

スタート5分前までに全車コース上グリッドへ整列する。スタート1分前に全車エンジンを始動し1周のフォーメーションラップ

を行う。全車がグリッドへ整列後、シグナルレッド点灯から消灯でレーススタートとする。GT1 クラスとGT2 クラスはクラスごとにグリッドに整列する。スタート方式はスタンディング方式とする。

- ・スタート5分前までにグリッドに整列できない場合にはピットスタートとなる。
- ・グリッドでエンジンが始動しない等のトラブルが発生した場合にはピットスタートとなる。
- ・フォーメーションラップ中にトラブルやスピン等で停止した場合には、スタートが優先され停止した車両はコース上で安全に待機し、セーフティーカー介入後に回収すること。

#### 14、ペナルティ

レース中は本規則が適用され、それに違反した者はペナルティの対象となる。

ペナルティの種類は下記の通り。

a : 警告 b : ピットストップペナルティ c : 順位降格 d : 失格

また、具体的な行為によるペナルティは下記の通り。

①:ピットストップペナルティ:1分間

- 1)スタート時のフライング
- 2)イエローラインカット
- 3)与えられたフラッグサインの無視
- 4)ピットロードシケインのパイロンタッチ
- 5)プッシングおよびブロッキング(主催者判断による)
- 6)ピットロード徐行違反(ピット入口付近含む)
- 7)ドライバー交代時、エンジンストップ義務違反
- 8)徐行違反
- 9)その他、主催者が判断した場合

②失格

- 1)危険行為
- 2)与えられたフラッグサインの無視
- 3)チェーンオイル塗布、義務違反
- 4)無断セッティング変更(GT2)
- 5)プッシング、ブロッキング(主催者判断による)
- 6)その他、主催者が判断した場合

※警告ペナルティは主催の判断による。

#### 15、走行中の危険行為

走行中のプッシングやブロッキング等の危険行為はペナルティの対象となる。速度の違う2クラスの混走であることを考慮し、一般のレーシングカートレースよりも厳しい判定基準によってピットストップペナルティもしくは失格の罰則が適用される。

#### 16、ピットロードの走行

ピットロードの通過に際しては最徐行しなければならず追い越しも禁止される。作業エリアを走行してはならない。速度違反、走行区分を違反した場合にはピットストップペナルティが課せられる。

※徐行とはすぐに停止できる速度のことを指し、主催者・オフィシャルが判断するものとする。

#### 17、ピットロードシケインのパイロンタッチ

ピットロードに設置されたシケインのパイロンに接触した場合、もしくはシケインを不通過の場合にはピットストップペナルティが課せられる。

#### 18、ペナルティ提示方法

ペナルティの対象となる違反が発生した場合はコース上メインポストから“黒旗”と“ゼッケンNo”を提示する。提示されたカートは速やかにピットインしペナルティエリアで1分間のストップ、もしくは失格が命じられる。ピットストップペナルティの場合1分後オフィシャルの指示で再スタートできる。

※ペナルティストップでピットインの際は、ドライバー交代を含む他のすべての作業は行えない。

## 19、ドライバー交代

レース中のドライバー交代は全チーム主催者が定めた場所で行う。

ドライバー交代時は必ずエンジンを停止する。

各クラス、ドライバー交代時のピットストップの時間規定は別途定める。

ドライバー交代時は必ずエンジンを停止する。

ドライバー交代の回数は下記のように規定する。

ドライバーチェンジの回数は参加するドライバーの平均体重と平均年齢で決定します。

但し、女性ドライバーの体重は計測はせずに一律 55Kg で計算するものとする。なお、計測を希望する女性ドライバーは計測値を利用して平均値を算出することができる。

平均体重および平均年齢合計: 110 以上 →4 回以上

平均体重および平均年齢合計: 105 以上～110 未満 →5 回以上

平均体重および平均年齢合計: 100 以上～105 未満 →6 回以上

平均体重および平均年齢合計: 95 以上～100 未満 →7 回以上

平均体重および平均年齢合計: 95 未満 →8 回以上

なお、計量は受付終了次第、随時チーム単位で行います。

各クラス、規定回数を満たさない場合には、失格とする。

ドライバー1名当たりの走行時間制限はないが主催者判断で安全でないと判断した場合には、ピットイン命令が出される場合がある。

なお、スポーツカートミーティングとの併催レースにおいては、特別規則によって交代回数・時間など別途定める。

## 20、ピット作業(チェーンオイル塗布、給油)

1) GT2 クラスはチェーンオイルの塗布を全チーム義務付ける(塗布場所は改めて発表する)。

方法は各主催者が決定した時間帯と方法でチェーンオイル塗布が義務付けられる。塗布は指定された場所にて主催者が準備したチェーンオイルを塗布すること。時間内に塗布できなかったチームは失格とする。

2) 給油は給油指定場所にて行う(3 時間以上のレースの場合)。

方法は、各チーム内で燃料を安全に給油すること。

1 回に給油できる量はGT1 クラス 2 リットル、GT2 クラス 2 リットルとし、1 回の給油に対して、3 分間のストップとドライバー交代が義務付けられる。また、特別規則により給油方法が別途制定される場合がある。

GT1 クラスの燃料(※1 一般市販ガソリン)と※2 タンクは参加者が準備すること。

GT2 クラスの燃料については、主催者準備とし給油所にて配給する。

給油の際はチーム内で消火器をいつでも使用できる体制で給油すること。

給油所で給油できる台数は各主催者によって決定される。

※1: 一般市販ガソリンとは通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている無鉛ガソリン。添加物の使用も禁止される。

※2: タンクはポリミックスタック等の半透明な容器で数量の目盛り付きなものを用意すること。オイルジョッキなどは使用できない。

スタート時(3時間以上の耐久の場合)

GT1 クラス: 参加者が目盛り付きのポリミックスタックに上限 2 リットルの燃料を準備し、車検員監視の下、指定場所にて給油する。

GT2 クラス: 各主催者が事前に発表する量でスタートする。

## 23、リペアエリア設置(GT2 クラスのみ)

レース中、接触やコースアウト、不慮のトラブルでカートが破損した場合にはリペアエリアを設け、専任のスタッフにより修理を行うものとする(チーム内で修復作業が行える場合はリペアエリア内で修理を行うことは可能。ただし、修理以外の作業は禁止)。

複数のカートが重複した場合はリペアエリアに到着した順番に優先する。

よって、軽度な修理でも順番待ちが発生する可能性がある。

原則として車両交換は行わず修理を行うものとする。

ただし、修理不可能な場合にはスペアカートに変更することが認められるが、操作ミス等で破損しスペアカートを使用した場合には有料となる。

※メンテナンスについては十分に行っておりますが、2時間以上のレースともなると予想できないトラブルが発生することがあります。ご理解ください。

## 24、セーフティーカーおよびフルコースコーション

コース上でのストップ車両が発生した場合、セーフティーカーが介入する。セーフティーカーがコースイン後、原因車両は自走してピットへ戻ることを禁止する。

セーフティーカー介入決定後、直ちに全ポストは黄旗、メインポストは「SC」ボードを提示しセーフティーカーが先頭に関係なくコースインする。すべての車両はセーフティーカーを先頭に1列に整列しなければならない。その際の追い越しは禁止する。ただし、トラブルにより隊列について行けない場合は、片手を上げ、後続に合図しながらラインを外すこと。フルコースコーション中にピットインは可能とし、ピットアウトについてはオフィシャルの指示に従うこと。セーフティーカーがピットインし、メインポストで緑旗が提示されたら、コントロールラインよりフルコースコーションは解除される。その際、コントロールライン手前での追い越しは禁止される。

## 26、GT1 車両規定

### ①シャシー:

- ・公認実績のあるカート用シャシーのみ使用可能
  - ・前後左右にはバンパーを必備とし、リヤの大型バンパーは推奨
  - ・フルカウルや大型フェアリングは禁止
  - ・ウイングや空力向上のためと思われるスポイラー類は禁止(メーカー標準装備品は除く)
  - ・バックミラーの取付け自由
  - ・その他 K-TAI ルールに準拠
- ※カウルやウイング類については、主催者・車検員の判断を最終のものとする。

### ②タイヤ: 下記指定タイヤ

☆ドライ

- ・ダンロップ DFK2
- ・ブリヂストン HF
- ・ヨコハマ ED

☆ウェット

- ・自由

### ③エンジン:

270cc以下の4ストローク汎用エンジンで指定エンジン。また、セルスタータは推奨。

〈指定エンジン〉

- ・HONDA製: GX120/160/200/270
- ・SUBARU製: EX13/17/21/27/KX21
- ・Briggs & Stratton 製: World Formula

※上記以外の主催者が認める4ストローク汎用エンジン

※基本機構変更以外の改造は自由

- ・エアクリーナー必備
- ・基本機構の変更は禁止(バルブ数変更、ボア・ストローク変更等)ただし、ガバナーの取り外し可
- ・マフラー変更可(ただし主催者が著しくうるさいと判断した場合は、そのマフラーの使用を禁止)
- ・その他、K-TAチャレンジルールに準拠

## 27、賞典（GT1 クラス・GT2 クラスは別賞典）

1 位:トロフィー、シャンパン、賞品、副賞 AS シリーズ優勝者ステッカー

2 位:トロフィー、シャンパン、賞品

3 位:トロフィー、シャンパン、賞品

特別賞:

・ファステストラップ賞:レース中、各クラスのファステストラップをマークしたチームに賞品を授与

## 28、シリーズポイントの授与(GT1 クラス・GT2 クラスは別賞典)

・第1～3戦

決勝順位 1位 2位 3位 4位 5位 6位 7位 8位 9位以下完走

ポイント 15 12 9 7 6 5 4 3 1

※全戦有効

## 29、チームの認定

各戦1名が次戦に継続エントリーしていれば同一チームとして見なされる。

例) 第1戦 ABCD 第2戦 A EFG 第3戦 E HIJ

原則としてチーム名の途中変更は許されないが、主催者もしくは事務局が同じチームと認識できると認めた場合は可とする。

## 30、シリーズ賞典

・GT1 クラス

1 位:トロフィー、賞品、

2 位:トロフィー、賞品、

3 位:トロフィー、賞品

・GT2 クラス

1 位:トロフィー、賞品、

2 位:トロフィー、賞品、

3 位:トロフィー、賞品